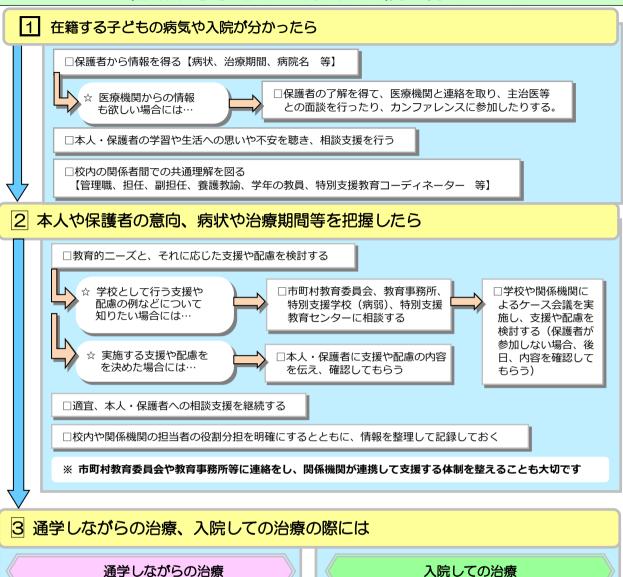
病弱・身体虚弱のある子どもの理解:補助資料②

☆在籍する子どもの病気や入院が分かったら



通学しながらの治療 □適宜、本人・保護者へ □校内の教職員間で病状 の相談支援を継続する や支援等についての共 通理解を図る □保護者と日常的に連絡 を取り、学校での様子 □通院等による遅刻早退 を伝えたり、支援等の や欠席がある場合は、 確認をしたりする 学習内容を伝えたり、 課題を準備したりする □学級等の児童生徒に病 状等をどのように伝え □必要に応じて、感染症 るかを本人・保護者と 対策を行う 相談・確認する □必要に応じて、係活動 □必要に応じて、運動制 や学校行事の参加方法 限や食事制限等に対応 等を本人・保護者と確 する 認する

- □適宜、本人・保護者へ の相談支援を継続する
- □学級等の児童生徒との 交流を行うなどして、 退院後に学校生活に戻 りやすい環境をつくる
- □ I C T を活用するなどし て学校とのつながりを感 じられるようにする
- □校内の教職員間で病状 や入院中・退院後の支 援等についての共通理 解を図る
- □病室を訪問し、学習指 導を行ったり、課題等 を届けたりする
- □退院後の支援等につい て本人・保護者、医療 機関から情報を得る
- □特別支援学校(病弱)がある(または隣接する)病院への入院が一定期間以上となる見込の際には、入院期間中、特別支援学校に転学し教育を受けることができることを本人・保護者に伝え、意向を確認する